

試験湛水による安全の確認が終了しました

胆沢ダムでは、ダムの本格的運用を開始する前に、ダム堤体や基礎地盤などの安全性を確認するため、平成24年12月3日より試験湛水を開始し、平成25年5月6日午後9時に洪水時最高水位（標高356.5m）に達しました。

その後、最高水位を約24時間維持し、5月7日から1日に約1mの速度で水位を降下させ、10月11日に最低水位（標高304.0m）まで降下しました。

ダム堤体や基礎地盤などに問題がなく、安全性が確認されたことから、予定していた一連の試験湛水を終了しました。

今後は、胆沢ダム建設事業の完了に向けて周辺整備工事等を進捗します。

※試験湛水とは

実際にダムに水を貯めて、ダム堤体や基礎地盤などに問題がないかを確認するものです。ダムを通過する川の流れを堰き止めて水を貯め、洪水時最高水位（洪水時に想定される最高の水位）まで水位を上げ、その後、所定の水位（胆沢ダムの場合は最低水位：ダムの貯水を利用する中で想定している最も低い水位）まで降下するものです。

※試験湛水の経過

平成24年12月 3日 試験湛水開始
平成25年 4月15日 平常時最高貯水位到達（標高345.6m）
平成25年 5月 6日 洪水時最高水位到達（標高356.5m）
平成25年 5月19日 平常時最高貯水位に降下
平成25年10月11日 最低水位に降下（標高304.0m）

〈発表記者会：奥州記者クラブ、日刊岩手建設工業新聞、建設新聞社〉

問い合わせ先	
国土交通省 東北地方整備局 胆沢ダム工事事務所	
電話 0197-46-4711（代）	
副所長（技術）	ふじわら まさゆき 藤原 政幸（内線204）
調査設計課長	いいた まなぶ 飯田 学（内線351）

試験湛水の状況はこちらの枠内を
クリックするとご覧になれます